

コートオフィシャル【サンドレベラー(レーカー)】の役割について (参考資料)

1 服装

全員が揃う服装が望ましいが、支給がなく揃わない場合は、同色系の服装を着用し、運動靴と靴下を履く。支給される場合は、大会ポロシャツ、キャップ、ハーフパンツを着用する。

2 役割の時間的な範囲

第1試合は試合開始20分前までに、第2試合以降は前の試合が終了する前に指定の場所に集合する。

3 人数

6名または4名、大会によっては2名や、ボールリトリバーが兼ねることがある。

4 主な業務

試合前(前の試合終了後すぐに)、公式練習後、テクニカルタイムアウト、タイムアウト、セット間にコートの砂地をきれいに均(なら)す作業である。(約40秒で)

(1) 試合中はコートサイドに待機し、出番になったら、一斉にサイドライン上に走って移動する。

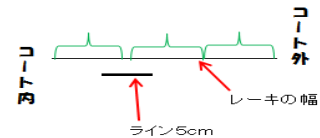
(2) 1番内側の人から先にネット下から1.5m程度を反対側担当者と交互に均す。

(ネットからレーキ1本分離れた場所より、ネット下に向かって掘ったり、耕したりせず、表面だけ均す)

(3) [4名または6名の場合] 2番目の人はネット下作業が開始したらラインを均す。

(ラインの下が平らになるように)

※その際にレーキ全体の3分の2が、コート外になるように、レーキの位置を保つ



(4) [6名の場合] 1番外側の人は担当コートのレシーブ位置の

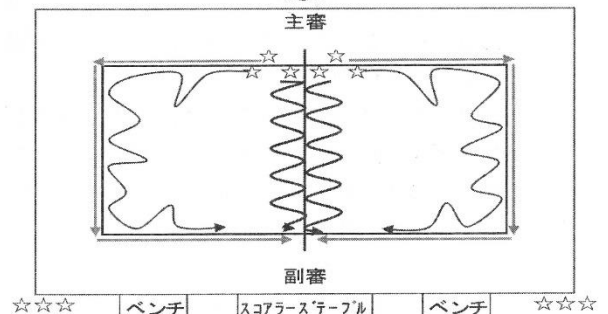
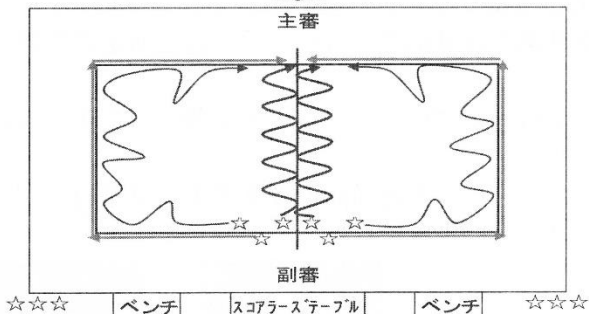
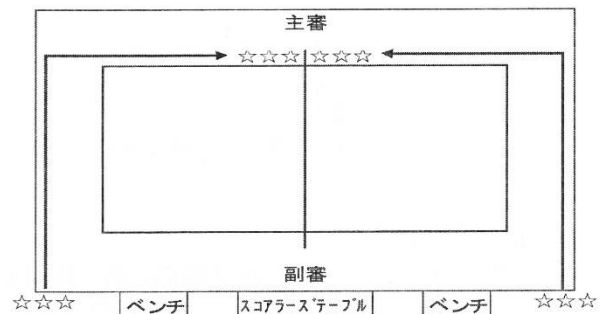
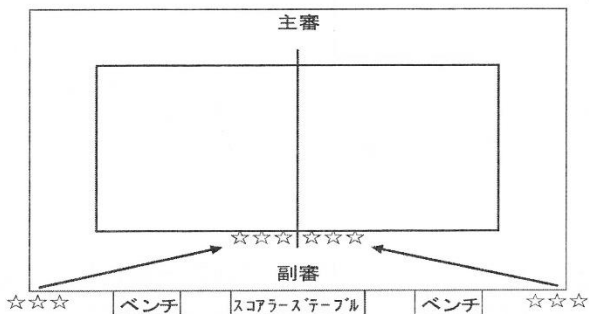
凸凹を平らにする(ライン側から軽く砂を押しながら)

(5) 全員が終わったら、最初に立った反対側のサイドライン上に立って、一礼し、元の位置に戻る。

【1・3・5・・・回目】



【2・4・6・・・回目】



1回目に副審側から始め、2回目は主審側から始める。その後も交互に行う。

※4人の場合、ネット下とライン上を均した後、時間があれば、サーブレシーブをする所も凸凹になっていないか確認し、凸凹の場合には、できる限り均すこと。